９月１３日（金）豊島高等学校で図書委員会中心に
校内ビブリオバトル大会を行いました。

一人３分のミニビブリオバトルを主体としましたが、本が好きな人も多く、充実した会になりました。チャンプ本と次点の本は接戦となり、白熱した会となりました。

豊島高校ビブリオバトル結果

チャンプ本　『黒猫の小夜曲(セレナーデ)』 知念 実希人/著 光文社
２位　『同志少女よ、敵を撃て』 逢坂 冬馬/著 早川書房

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』 汐見 夏衛/著 スターツ出版
『逆ソクラテス』 伊坂 幸太郎/著 集英社
『ピクトさんの本』 内海 慶一/著 ビー・エヌ・エヌ新社
『変な家』 雨穴/著 飛鳥新社

１１月４日（月）
東京都高等学校書評合戦　参加報告

僕は今回「黒猫の小夜曲(セレナーデ)」という本でビブリオバトルの都大会に出場させてもらいました。僕自身、以前から自分の好きな作品を話すのが好きで、高校に入ってからビブリオを知った時、興味を持って初挑戦しました。大会を通して、自分が紹介する本の魅力を分析し、どうすればいい所を伝えられるかを考えるのが新鮮でした。残念ながら思うような結果は出せませんでしたが、新たに面白そうな本を見つけ、本を読む以外にも楽しみ方があると知ることが出来てとても有意義な大会でした。またの機会があったら挑戦したいです。（１年　矢野）

【校内ビブリオ大会】
偶然座った席でチーム分けしたので、新鮮さがあり、緊張感を持った対戦をしました。同時に、初対面の豊島生の優しさを感じる会になりました。（上の写真）

都大会の予選は、一試合６名（投票権者は１８名）です。予選突破ならずとも、質問がきちんと寄せられ、複数の票が入る立派な戦いぶりでした。

【都大会（予選)】。（下の写真）